

# システム構築のためのプラットフォーム活用標準“ MIWESTA/PF ”

朝倉耕一\* 松浦陽平\*\*\*  
 村田謙一\*\* 原田雅史\*\*\*  
 花崎芳彦\*\*\*

Platform Infrastructure Standard “ MIWESTA/PF ” for System Development

Kouichi Asakura, Kenichi Murata, Yoshihiko Hanazaki, Yohei Matsuura, Masafumi Harada

## 要 旨

三菱電機インフォメーションシステムズ(株) (MDIS)では、オープンシステムの黎明( れいめい )期からWebシステムの開発標準を体系化し、“ MIWESTA<sup>(注1)</sup>( MDIS Web Development Standard )”としてソリューション技術の蓄積・整備を図ってきた。“ MIWESTA ”は、現在アプリケーション開発標準“ MIWESTA/AP ”と、プラットフォーム活用標準“ MIWESTA/PF ”の2つで体系化されている。

MIWESTA/APIは、Webアプリケーションソフトウェアを開発するためのフレームワークである<sup>(1)</sup>。

MIWESTA/PFは、上記のWebアプリケーションソフトウェアを開発する上での基盤となるオープンプラットフォームの選定・活用にかかわる標準であり、IHV( Independent Hardware Vendor )製品やISV( Independent Software Vendor )製品を組み合わせることで所定の品質や性能

(注1) MIWESTAは、三菱電機インフォメーションシステムズ(株)の登録商標である。

を確保することを目的としたものである。

“ オープン化 ”の進展に伴って、利用可能なプラットフォーム製品の選択肢が拡大し、より安価な製品で、より効率的なシステムの構築が可能になってきた。しかし、反面、これを選定する上での広範な知識と活用ノウハウが必要となっており、とりわけ、性能や信頼性などの非機能要件に関する設計技術の面で、標準化の果たす役割は大きい。MIWESTA/PFでは、プラットフォーム製品の選定・活用に関する基準を制定し、その基準に沿った形でシステムを構築する場合の設計手法ガイドとそれを支援するツール群とによって、製品活用技術の標準化を実現している。本稿では、このうちのプラットフォーム製品の選定から構成設計( コンピューティング・モデル設計 )までを支援するプラットフォーム設計支援ツールと、物理構成を確定するために必要なサイジング( 性能設計 )の手順について述べる。



## システム開発の標準フレームワーク“ MIWESTA ”の構成図

MIWESTAは、システム開発基盤の総称である。MDISのシステム生産標準である“ SPRINGAM ”の下で、Webシステムの開発標準をフレームワーク化し、Webアプリケーションソフトウェアの開発/実行基盤(プラットフォーム)とに分けて開発・構築技術を蓄積・整備している。“ MIWESTA/PF ”は、このうちの実行基盤の方をサポートする。TOGAF( The Open Group Architecture Framework )のテクノロジー・アーキテクチャのレイヤを対象に、製品選定基準、高信頼化設計手法、各種支援ツール、検証設備などによって関連技術の体系的整備を図っている。